

## 2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科 昼間部		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	国際言語聴覚概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 集中講義	教室名	レッドランズ大学
担 当 教 員	山本、小川、矢部、丸山、酒井	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
アメリカの提携大学において、言語聴覚障害に関連する講義を受講し、訓練場面や施設の見学、日本の養成校では経験できない検査実技を通して日米の異同を学ぶ。さらに、学生同士の交流を通して国際的な教養を養い、豊かな人間性を身につける。						
《成績評価の方法と基準》						
出席評価点60%、課題評価40%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
レジュメを適宜配布する						
《授業外における学習方法》						
学んだことを復習し、わからない部分については必ず調べて確認すること。						
《履修に当たっての留意点》						
アメリカでの言語聴覚士の仕事内容や日本では経験できない検査の実技など学ぶべきことは多く、国際感覚を身につけられる貴重な機会です。積極的にディスカッションを行い、有意義な時間にしてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	アメリカにおける自閉症の捉え方を説明できる。	レジュメ、 その他資料	レジュメ、配布資料を通読	
		各コマにおける授業予定	実際の映像を通して、アメリカにおける自閉症の定義、捉え方を学ぶ。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	アメリカにおける自閉症の診断と治療法を説明できる。	レジュメ、 その他資料	レジュメ、配布資料を通読	
		各コマにおける授業予定	アメリカにおける自閉症の診断と治療法を学ぶ。			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	日本とアメリカにおける高齢者施設の環境の違いを説明できる。	レジュメ、 その他資料	レジュメ、配布資料を通読	
		各コマにおける授業予定	プレマスビレッジ高齢者長期療養施設を見学し、理学療法士をはじめとする施設職員の説明を聞く。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	アメリカにおける学習障害、低学力との関連性について説明できる。	レジュメ、 その他資料	レジュメ、配布資料を通読	
		各コマにおける授業予定	アメリカにおける学習障害、低学力との関連性について学ぶ。			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	喉頭ストロボスコープ撮像の手法を説明できる。	レジュメ、 その他資料	レジュメ、配布資料を通読	
		各コマにおける授業予定	アメリカで言語聴覚士を取得し活躍している日本言語聴覚士から、喉頭ストロボスコープ撮像の手法を学び、学生同士での実技を行う。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚙下時の内視鏡検査講義を説明できる。	レジュメ、 その他資料	レジュメ、配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	アメリカで言語聴覚士を取得し活躍している日本言語聴覚士から、嚙下時の内視鏡検査講義を受ける。		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	成人の嚙下障害について、評価と治療法を説明できる。	レジュメ、 その他資料	レジュメ、配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	成人の嚙下障害における評価と治療法を学ぶ。		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	小児の嚙下障害について、評価と治療法を説明できる。	レジュメ、 その他資料	レジュメ、配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	小児の嚙下障害における評価と治療法を学ぶ。		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実際の症例について自ら考え、評価法、訓練法を検討することができる。	レジュメ、 その他資料	レジュメ、配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	グループでの症例検討を行う。		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	価値観や文化の違いを尊重でき、広い視野でものごとを捉えられる豊かな人間性を身につける。	レジュメ、 その他資料	レジュメ、配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	日米学生懇親会 アメリカで同じように言語聴覚士を目指している学生たちとの交流会		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	アメリカにおける言語聴覚療法分野の研究を知る。また、研究発表を通して課題発見力、問題解決能力を身につける。	レジュメ、 その他資料	レジュメ、配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	日米学生の研究発表会		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	音声障害の評価と治療法を説明できる。	レジュメ、 その他資料	レジュメ、配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	音声障害の評価と治療法を学ぶ。		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	アメリカにおける吃音の捉え方を説明できる。	レジュメ、 その他資料	レジュメ、配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	アメリカにおける吃音の捉え方について学ぶ。		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	アメリカにおける吃音の評価と治療法を説明できる。	レジュメ、 その他資料	レジュメ、配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	アメリカにおける吃音の評価と治療法について学ぶ。		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	今回の研修を通しての自身の変化、今後の方向性について考えることができる。	レジュメ、 その他資料	レジュメ、配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	レッドランズ大学の教授や学生たちと交流し、研修を振り返る。		